

環境アセスメント学会主催  
公開シンポジウム：「ビックデータと環境アセスメント」  
2021年9月3日 14:30-17:00

<概要>

各種分野でのビックデータの活用が進んでいる。リアルタイムの人の流れの分析やグローバルスケールでの膨大な情報の分析や予測の活用が急速に進んでいる。これらのデータや技術は、公開情報として利用可能な状態で提供されているものも多く、今後の各種評価の基礎データとして活用されていくことが期待される。本公開シンポジウムは、空間情報等のビックデータを活用した最先端の取り組み事例を各専門家から紹介いただき、ビックデータの環境アセスメント分野での活用可能性について議論を行う。

日時：2021年9月3日（金曜日） 14:30-17:00

場所：オンライン（事前登録が必要です）

後援：名古屋大学未来材料・システム研究所（手続き中）

・シンポジウム参加申し込み（締め切り：2021年8月25日（水））

<https://forms.gle/nbvWWUBQZBS3nAWH9>

<内容>

座長：林希一郎教授（名古屋大学）

開会挨拶：14:30-14:35

藤田八暉会長 環境アセスメント学会

講演1：14:35-14:55

Ferdinando Villa 教授 (BC3, Spain) : 英語

・Artificial intelligence for a sustainable planet: the ARIES platform

日本語概説 (14:55-15:10) : 林希一郎教授 (名古屋大学)

講演2：15:10-15:35

福井弘道教授 (中部大学国際GISセンター)

・デジタルアース：SDGsとグリーン変革のためのプラットフォーム

講演3：15:35-16:00

會田義明課長補佐 (環境省大臣官房環境影響評価課)

・環境アセスメントデータベース「EADAS」と今後の展望

講演4：16:00-16:25

島田克也所長 (いであ株式会社国土環境研究所)

・環境アセスメントとビッグデータ活用技術

総合討議：16:25-17:00

お問い合わせ：環境アセスメント学会第20回大会実行委員会事務局

E-mail：jsia2021nagoyau@gmail.com